

IoT 時代に求められる 3D プリンター・造形材料、および開発動向

IoT と 3D プリンター技術は各々独自に発展してきたが、昨今、双方が歩んできた道が交わりを見せている。設計・製造の現場だけでなく、研究・教育機関、歯科などの医療施設、小売店舗などの流通分野、さらに家庭にまでそのフィールドは広がっている。本セミナーでは、IoT と 3D プリンター及び造形材料の関係を深めるコンセプトにした。

開催日時	2016 年 4 月 1 4 日 (木) 13:00~16:30	【会場】 『あすか会議室 神田小川町』 4 階 401 会議室 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-1-7 日本地所第 7 ビル
受講料	48,000 円 (税込) ※資料代含 *メルマガ登録者は 43,000 円 (税込)	

1. 3D プリンターからIoTファブリーケーターへ

講師	田中 浩也 氏 慶應義塾大学 環境情報学部 准教授	13:00~14:40 (質疑含)
プログラム	<p>1.3D プリンターをはじめとするデジタルファブ리케이션技術の現状と位置づけ 2. IoT (Internet of Things)技術の現状と位置づけ 3. IoT と 3D プリンターの融合可能性について 4. それによって未来に生まれるサービスと産業の事例 5. 新たな職業/職能誕生の可能性 6. IoT ファブリーケーターを支える各種ウェブサービスの例 7. 3D 検索エンジン (http://fab3d.cc) 8. 汎用工作機械 CAM (http://fabcam.cc) 9. 制作コラボレーションシステム (http://fabble.cc)</p> <p><講師から> 文部科学省 COI(Center of Innovation)プロジェクトの一環で研究開発している。 (http://coi.sfc.keio.ac.jp) 「IoT ファブリーケーター」について、その概念、機能と狙いを解説する。</p>	

2. 3D プリンター材料、求められる材料と今後の開発の方向性

講師	萩原恒夫 氏 東京工業大学 大学院理工学研究科 産官学連携研究員	14:50~16:30 (質疑含)
プログラム	<p>1.3D プリンター概説 2.3D プリンターに求めるもの 3.3D プリンターとその材料 4.3D プリンターおよびその材料の国内外の市場 5.樹脂材料を中心としてその現状と開発動向 6.材料から見た 3D プリンターの今後の行方とビジネスチャンス 7.医療・歯科用途など宝飾用途など</p> <p><講師から> 光造形システムの発明を契機に、多様な三次元積層造形法が開発され、実用化されてきた。既に 20 年以上経過し、その基本特許が切れる時期を迎え、低価格機が出現するに至り、産業革命をもたらす可能性がある大きな注目を集めている。これら造形装置は、今日は親しみやすい 3D プリンターと呼ばれるようになった。しかし、現状、出力材料(造形材料)としては熱可塑性樹脂や光硬化性樹脂が主体であり、3D プリンターを利用した個別表現=高付加価値という点からも、未熟でありその性能・品質・機能の向上が強く求められている。本講演では、3D プリンターの材料について現状を理解するとともに、今後の開発の方向性を探る。</p>	

※プログラム充実のため内容が変更になることもあります。

セミナー申込書			
弊社記入欄			
セミナー名	IoT 時代に求められる 3D プリンター・造形材料、および開発動向		
所定の事項にご記入下さい	会社名 (団体名)	TEL :	
	住所 〒	FAX :	
	E-mail :		
	部署	役職	氏名
お支払方法	銀行振込・その他		お支払予定 2016 年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上、FAX または E-mail でお申し込みください。折り返し、聴講券、会場地図、請求書を送付いたします。
(E-mail での申し込みは re@cmcre.com)

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789